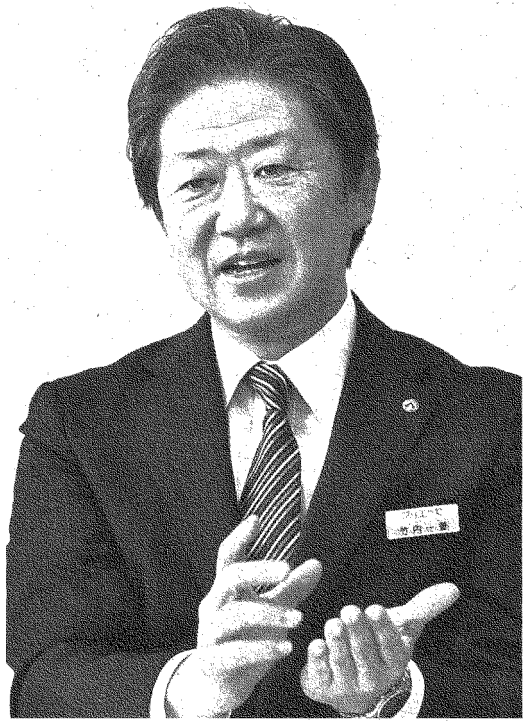


葬儀社としてコロナ対応に追われた一年でしたが、感染したご遺体の搬送や葬儀会場での感染対策を通じて、社員に「地域に不可欠な存在」という自覚が芽生えたことは大きな収穫でした。昨年5月に始めた選べる家族葬「ERABEL（イラベル）」も、社員が当社の強みを深掘りする中で生まれたプランです。自ら考え、誇りと愛着を持って従事する姿に頼もしさを感じています。昨年11月、Gメッセ群馬で開かれた故田野昇ミツバ元会長のお別れの会を任せていただきました。故中曽根康弘

たけ うち かず ゆき
竹内 一普氏

プリエッセ社長



元首相の合同葬に続く大役でしたが、当社だけでなくデザイン会社や生花店など「オール群馬」で取り組み、成功させることができました。大きな仕事は

番号を印刷する仕組み（催事非接触型受付情報管理システム「イノリス」）を開発しました。予想以上にスムーズに機能したことから、葬儀以外のイベント

ていきたいと考えています。葬儀には癒やし効果があると言われており、残された人が新たな日常を始めるための儀式でもあるからです。今後も「悲しみ

悲しみから感動の涙へ

縁を呼び、新しいことを生み出します。

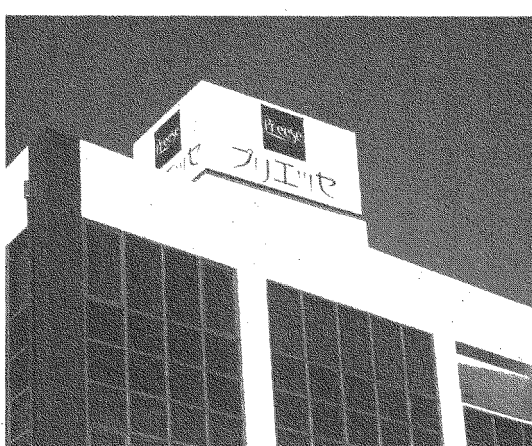
トへの応用も期待されています。

の涙から感動の涙へ」のキャッチフレーズの下、ご遺族が故人と向き合い、見

開催に合わせ、前橋市のシステム開発会社と共同で、案内状に記載したQRコードをかざすと瞬時に受付し、座席

速しましたが、多くの人が参列し、温かい雰囲気の中で見送る従前の形に戻し

送る時間が豊かなものになるよう、一件一件誠実に向き合っています。



折りの空間

プリエッセ

本社：高崎市本町89 ☎0120-098354

URL: <https://www.priese.co.jp>

e-mail: info@priese.co.jp

2022.01.01. 上毛新聞 新春聞書